

整頓に表れる心

この整然と並べられたバッグの置き方から、各部の今年度の意気込み・決意・覚悟が伝わりました！

これこそ部活動の意義だと改めて感じました。

部活動集会にて

今年度の「部活動集会」は、教員からの一方的な説明だけではなく子どもたち主体の集会になるようにと、担当の村上教諭の計らいで、3年生(部長)を中心として実施するスタイルとしました。男子バスケの〇〇〇太さんが全体進行を、陸上競技の〇〇〇丸さんが目標発表の役割を担いました。今年度の本校の部活動目標は「応援されるチーム(選手・演奏者)になる！」です。これは各部の代表者が話し合ってきたものです。応援されるには、『礼儀(挨拶・返事・感謝・整理整頓・言葉遣い)』を意識すべきなので、しっかりとできるように各部で徹底しよう！と確認していました。また、それぞれの代表からは、今年度の到達目標や部としての目指す姿について元氣よく発表する様子があり、大変頼もしく感じました。

▶サッカー: 〇〇〇馬さん ▶卓球: 〇〇〇太さん ▶バレー: 〇〇〇咲さん ▶吹奏楽: 〇〇〇乃さん ▶柔道: 〇〇〇汰さん ▶剣道: 〇〇萌さん ▶スキー: 〇〇〇葉さん ▶野球: 〇〇〇〇星さん ▶女子バスケ: 〇〇〇〇夏さん

私は、「部活でできることが日常でできるようになってホンモノになる」と思っています。挨拶も、返事も、言葉遣いもホンモノに！体育館でも、グラウンドでも、音楽室でも、そして、いつもの教室や机の上の整理整頓などができるようになって初めてホンモノとなり、「応援される」資格を得られます。

この集会を機に、部活動生に限らず、誰もが「応援される羽中生」になることを楽しみにしています！



4月26日(土) 今年度初めての授業参観日



1 A 国語

お休みににもかかわらず、たくさんの保護者の皆さんにご来校いただき、ありがとうございました。今回は、森町長、濱野教育長をはじめ、松橋教育委員や町教委職員の原田係長にも、各学年のABそれぞれの学級のみならず、特別支援学級の様子も参観していただきました。



2 A 保体



3 A 社会

保護者も地域の皆さんも、学校で設定する参観日に限らず、日常の授業はいつでも参観して下さって構いません。ただし、单元テストや予定変更などもあり得ますので、ご来校の際には事前連絡のご協力をお願いします。



3 B 英語

会 長 吉崎智久②
副会長 奥山圭子③
(兼 学年部長) 内海 香②
石原真弓①
監 査 栗林郁子③
高木未来①
事務局長 山形 勉
会 計 上浦真之介

R7_PTA役員等

○数字は学年 【敬称 略】

③副部長 工藤明美
②副部長 嶋元里絵
①副部長 三浦 葵
※学年部長 兼 副会長

教養部長 富樫志穂③
副部長 十川亜沙魅②
部員 村上千鶴①
教員 加地奈保子

育成部長 道端珠子③
副部長 野宮美香②
部員 佐井絵梨菜①
教員 村上美絵子

快くお引き受けいただいた皆さんの ご理解とご協力に感謝いたします！

昨年度末(2月)に一部報道でPTA予算や加入等について、以下のようなことが話題になりました。

- ◆予算の使途はPTA活動が対象であり、児童生徒の学習活動に執行されるものではない【予算の適正な執行】
- ◆加入は任意であり、未加入者から会費徴収はできない…ということが主な内容でした。

これを受けて、本校の役員会(総務委員会)で検討し、今後の羽中PTAの在り方について改めて精査しました。

【見直しの方針】

- 加入は任意であるが、できる限り多くの賛同・協力を得たいので、保護者負担の軽減に努める。
- たとえ未加入の家庭があったとしても公平性ある体制を整える(不平等がないような配慮)。

1) 活動内容を精選し、役員等の人数及び専門部を縮小

役員等で要する保護者人数 26名→14名
※総務委員会を無くして役員会に併合
※専門部の会議は必要な時に設定(定例会議は廃止)

2) PTAからの「卒業記念品(印鑑)」を廃止

3) 会計の「慶弔費」を廃止

4) 会計からの部活動関連の支出を廃止

※活動経費は各部、地域クラブ等にて対応いただく

5) 使途が不確定であった各専門部等の予算を廃止

※1)により役員等を引き受けてくださる方々の負担軽減
※2)~4)は未加入世帯があった場合への配慮
※2)~5)により、会費の大幅な減額(経済負担の軽減)
生徒1名1,800円(弟妹840円)→1家庭200円
※以上の見直しに伴う規約改正(総会にて決定済み)

これまでの経験では、年度はじめの学級懇談にて役員を選出し決定することに、相当なハードルの高さを感じていたものでした。しかし！昨年度末のPTA総務委員会を経て、新組織が固まった段階で、役員の方々が「任せてください！」と言わんばかりに、各学年の皆さんに連絡を回してくださり、年度はじめにはお名前が挙がってきたという次第です。ご足労いただいた皆さん、そして、吉崎会長をはじめ、引き受けてくださった皆さんに、心から感謝を申し上げます！

「PTAに加入しなくてもいい!」と、 言いたいわけではありません!

学校は、皆さんからのご理解やご支援、時に鋭いご指摘などをいただきながら、家庭と共に子どもたちの教育を進めていくことが望ましいと考えております。そのため、保護者と教職員との「公式な組織」であるPTAの活動を大切にしていきたいため、「加入しないでください」と言っていることにならないよう、改めて確認の意味でお伝えします。

昨今は、子育てにおける家庭での経済的・時間的・精神的なご負担によって、学校の教育活動への協力が難しくなり、都市部の学校ではPTAに加入しない家庭が増えていると耳にします。もちろん、PTAへの加入は任意なので、未加入を判断されたご家庭に非があるわけではありません。

ただし、本校のような規模の学校にとっては、家庭や地域のご支援なしに運営していくことは、はなはだ心もとなく感じてしまいます。そのため、たくさんのご家庭からPTA活動へのご協力をいただきたいと考えております。

そのため、かつては各学年にいくつもクラスがあった頃の名残がある本校PTAの内容を昨年度1年間かけて役員の方々と知恵を合わせながら検討し、誰もが参加しやすい体制づくりに努めました。何卒ご理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

※PTAへの加入は強制ではありません。加入しないことや今後退会することをお考えの方は、遠慮なくご相談ください。